

報道関係者各位

「横浜マラソン 2015」ボランティアリーダーの方へのeメールの誤送信について

平成27年3月15日開催予定の「横浜マラソン 2015」において、ボランティアリーダー114人に対して、活動にあたっての連絡事項のeメールを一齐送信する際、本来は「BCC」に送付先アドレスを設定して送信すべきところを誤って「宛先」に設定して送信してしまい、お互いのメールアドレスが見られる状態となってしまいました。

1 概要

(1) メール送信先

横浜マラソンボランティアリーダー114人

(2) 個人情報内容

氏名及びメールアドレス 114件

2 経過

3月3日(火) 0時09分	横浜マラソン組織委員会スタッフが横浜マラソンボランティアリーダー114人に対して、活動にあたっての連絡事項をeメールにて送信。
0時30分頃	09分に送信したeメールについて、送信者が再確認したところ、送付先アドレスを「宛先」に設定してしまい、お互いの氏名及びメールアドレスが見られる状態になっていたことが判明。
8時30分	送信者が組織委員会事務局上司に報告。
14時49分	当該ボランティアリーダーに対して、謝罪するとともに、メール削除依頼及び今後不審なメールなどが届くようなケースが発生した場合には、横浜マラソン組織委員会事務局まで連絡と相談をして欲しい旨のeメールを「BCC」に設定して送信。
15時30分	当該ボランティアリーダーに対して、改めて、活動にあたっての連絡事項についてのeメールを「BCC」に設定して送信。

3 原因

電子メール送信の際には「宛先」「CC」「BCC」をケースによって正しく使い分ける取扱いとしておりましたが、今回、送信作業時に誤って「宛先」を選択してしまうとともに、送信前の再チェックができていませんでした。

4 今後の対策

重要案件や外部宛てに大量の電子メールを送信する際には、複数人によるダブルチェックを徹底するとともに、個人情報の重要性や確実な事務の取扱いについて、全職員に注意喚起を行い、再発防止に努めます。